

# 練馬区この1年

平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月

--	--	--	--	--



石神井松の風文化公園

平成26年4月

## 1日 石神井松の風文化公園開園

旧日本銀行石神井運動場のみどり豊かな敷地を生かし、自然の中でスポーツや文化・生涯学習活動を楽しむことができる公園として開園した。

## 1日 防災学習センターが開設

写真①

「ねりま防災カレッジ事業」の中心拠点として開設した、区では初の防災学習施設。防災に関する知識や技術を身に付け、家庭や地域において実際の活動につなげられるよう、防災について学習・体験ができるほか、各種展示や研修室の貸出しも行う。

## 14日 区施設と民間施設からなる複合施設「Coconeri」が開設

写真②

練馬駅北口に開設された。名称は、「ここからはじまる練馬の新生活」「交流、経済活動、社会復帰、子育てがここを拠点にはじまる」という意味が含まれている。施設内には、練馬区立区民・産業プラザが開設された。

## 16日 練馬区みどりバス氷川台ルートを再編

光が丘駅、練馬春日町駅、氷川台駅の3駅に現在乗り入れている氷川台ルートは、新たに練馬駅、東武練馬駅を加えた5駅を結ぶルートに再編した。

20日 練馬区長選挙、練馬区議会議員補欠選挙実施

22日 第18代練馬区長 前川耀男区長が初登庁

写真③

20日に実施された練馬区長選挙で初当選した。初登庁後、就任のあいさつを行った。任期は、平成26年4月20日から平成30年4月19日までの4年間。

## 5月

## 21日 熱中症指標計を配布

熱中症を予防するため、一人暮らし高齢者等に熱中症指標計を配布した。熱中症指標計は、気温と湿度から熱中症指標値を測定し、熱中症の危険性を段階的にライトとブザーで知らせるものである。

## 6月

## 20日 第66代議長に村上悦栄氏、第68代副議長に柳沢よしみ氏が就任

第二回区議会定例会で、村上悦栄議員が議長に柳沢よしみ議員が副議長にそれぞれ選出された。

## 20日 副区長2人体制となる

第二回区議会定例会で、新たに副区長1人の選任同意が議決され、副区長2人体制となった。



## 7月

## 1日 郵便局で住民票の写し等の証明書発行を開始

写真④

出張所の窓口事務の見直しに伴い、区内11か所の郵便局で住民票の写し等の証明書発行を開始した。平日の午前9時から午後4時まで郵便局の窓口で受け付ける。

## 22日 区長就任後「区長とともに練馬の未来を語る会」を初開催

写真⑤

区政運営の方針を定める新しいビジョンの策定に向けて、区民の声を聴くことを目的に開催したものの。平成26年度は、11回開催した。

## 22日 早宮区民事務所、関区民事務所が新設

これまでの4つの区民事務所の地理的バランスなどを踏まえ、区の北東部にある第二出張所と南西部にある関出張所を、早宮区民事務所、関区民事務所とした。区民事務所が6か所になることで、混雑の緩和を図る。また、練馬区民事務所は毎週土曜日の開庁を始め、出張所窓口での証明書発行と収納事務を終了した。

## 8月

## 1日 区役所西庁舎10階にみどりの庭園「ハーブテラス」が開園

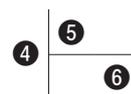
写真⑥

10種類以上のハーブや生け垣に適した樹木が植えられている。壁面緑化や太陽光パネルを設置するなど、環境に配慮した庭園を開園した。

## 9月

## 1日 「練馬区高齢者等見守りネットワーク協定」を締結

日常的に家庭を訪問する機会の多い電力会社、ガス会社、新聞販売店など16団体と協定を締結した。協定団体は、1人暮らし高齢者等を訪問した際に異変を発見した場合、速やかに高齢者相談センターや警察等に連絡を行う。



30日 天皇、皇后両陛下が区の老人クラブの活動をご視察 **写真⑦**

練馬文化センターを訪れ、区内の老人クラブ会員が行うコーラスやフラダンスの活動を視察された。

## 10月

1日 上石神井地域に敬老館と高齢者相談センター支所が開設

区内で12か所目となる上石神井敬老館と区内で25か所目となる石神井高齢者相談センター上石神井支所が開設した。

20日 オーストラリア・イプスウィッチ市友好都市提携20周年記念調印式を開催 **写真⑧**

平成6年に友好都市提携に関する合意書に調印し、これまで教育・文化・スポーツの分野で交流を深めてきた。調印式後、石神井松の風文化公園で、八重紅しだれ桜の木を記念植樹し、更なる交流の発展を誓った。

## 11月

20日 大江戸線延伸の実現をめざし都へ要望書を提出

「大江戸線延伸は、東京圏全体の安全で良質な都市生活基盤の形成に欠くことのできない鉄道路線であり、その実現が練馬区民の悲願でもある」と早期の事業化を要望し、今回、初めて具体的な項目を要請した。

## 12月

14日 衆議院議員選挙、最高裁判所裁判官国民審査実施

15日 学校給食費の未納金対策に区の債権回収のノウハウを活用

学校給食費の未納への初期対応から特に困難な場合の法的措置まで見据えた「学校給食費未納金の管理・徴収・催告等の手引」をまとめ、学校に周知した。また、学校を支援するための試行として、平成25年度以前の特に困難な事例については、区の収納課との連携により弁護士に未納金の回収を委託した。



7

8

平成27年 **1月****25日 西武新宿線立体化促進協議会が発足 写真⑨**

西武新宿線の立体化の早期実現に向けて、沿線住民など約210人の方々が集まり、「西武新宿線立体化促進協議会」の結成大会が開催された。会長には、区長が就任し、29日に区民、区議会議員と共に、都庁を訪問して、西武新宿線(井荻～東伏見駅付近)の立体化の早期実現に関する要望書を提出した。

**2月****8日 中学生「東京駅伝」大会で練馬区選抜チームが初の総合優勝 写真⑩**

味の素スタジアム・武蔵野の森公園(調布市)の特設周回コースで開催された第6回中学生「東京駅伝」大会で、練馬区選抜チームが女子の部で優勝、男子の部で2位に入り、初の総合優勝を果たした。男子は42.195km、女子は30km。今大会には23区・26市・1町の計50チームが参加した。

**26日 23区初、災害時における傷病者搬送に関する協定を締結 写真⑪**

区は民間救急事業者等15団体と、「災害時における医療救護活動の協力に関する協定」を締結した。首都直下地震などの災害時に、災害拠点病院等での処置が必要な重症者を、区の要請に基づいて、救急事業者等が医療救護所から災害拠点病院等まで搬送するというもので、今後は毎年搬送訓練を実施し、災害時における傷病者搬送体制を確立する。

**26日 23区初、災害時における透析患者搬送に関する協定を締結**

区は透析患者搬送団体等8団体と「災害時における透析患者搬送に関する協定」を締結した。震災等により、かかりつけの透析医療機関で人工透析が受けられない患者がいる場合、搬送団体等が避難拠点から区が指定する緊急透析医療機関まで搬送するというもので、今後は区内透析医療機関・搬送団体・透析患者会とともに災害時における透析医療体制を確立する。



9	
10	11

## 3月

## 19日 「みどりの風吹くまちビジョン」を策定

今後の区政運営の方向性を明らかにする「みどりの風吹くまちビジョン～新しい成熟都市・練馬をめざして～」を策定した。ビジョンでは、「構想」において10年以上先を見通して進める主要な施策の方向性を示した。その上で、「『練馬こども園』の創設」や「高齢者地域包括ケアシステムの確立」、「鉄道、道路などインフラの整備」など、5か年に取り組む18の戦略計画を明らかにした。

## 19日 「Yori Dori Midori 練馬」プロジェクトがスタート 写真⑫

ビジョン策定に合わせて、「よりどりみどり」をスローガンに、緑豊かな練馬区の様々な魅力を区内外に発信していくため、「Yori Dori Midori (よりどりみどり) 練馬」プロジェクトをスタートした。

## 27日 地域金融機関と創業支援の協定を締結

区は、地域金融機関、東京商工会議所練馬支部および一般社団法人練馬区産業振興公社と創業セミナーの共催や創業支援特別貸付への協力などの取組を行うため、「練馬区の創業支援に関する協定」を締結した。

## 29日 練馬こぶしハーフマラソン2015初開催 写真⑬

桜の名所である光が丘公園をスタート・ゴールとし区内の主要幹線道路をメインコースとするハーフマラソン大会が初開催された。当日は、4,500人を超えるランナーが区内を駆け抜け、大会には、公務員ランナーの川内優輝氏と数々の優勝実績がある現役ランナー谷川真理氏もゲストランナーとして参加。



練馬区のみどり色、  
一緒に作りませんか。

⑫

⑬

